

ふかめる

分かる快感！

Z会ナビ

算数 理科 社会

お題

元号と干支？

（京都大学 2019年 日本史）

スクラッチを使った
プログラミング通信講座、
Z会にて開講中！

Z会スクラッチ 検索

1968年に、佐藤栄作内閣は明治百年記念式典を開催しました。この年が「明治百年」とされたのは、元号が明治に改元された1868年から100年が経過したためですが、これに関連して以下の問いに答えなさい。

(あ) 明治の一つ前の元号は何か。
(い) 明治元年の干支は何か。

5月1日に元号が平成から令和になりました。この数か月間は、平成のふりかえりを扱ったテレビ番組などがたくさんありましたね。私は平成元年に小学1年生だったこともあり、なつかしい気持ちで平成をふりかえっていました。

入試でも、元号にふれた問題がいくつも出題されました。今回は、その中から京都大学の問題を紹介します。

元号のルール

まずは(あ)の問題を見ていきましょう。明治時代の一つ前の時代が江戸時代であることはわかる人も多いかと思いますが、元号となるといかがでしょうか。「江戸」という元号はありませんよ。

現代の私たちにとっては、天皇ごとに元号が一つということが当たり前のように思われますが、元号を改めるのは天皇の代替わりの時のみ、とするルールができたのは、明治になってからのことです。明治に定められたこのルールを「一世一元の制」ということもあります。

それまでは、元号はさまざまな理由により改められてきました。天皇の代替わりの時以外では、不吉なことや災害などが起きた際に改められることが多くありました。中には、亀が天皇に贈られた、縁起のよさそうな雲が現れた、といった理由で元号が改められたこともあった、とも言われています。

そして、明治の一つ前の元号は「慶応」でした。慶応の名を持つものとして慶応義塾大学があります。学校が開かれたのは慶応より前の安政という元号の時でしたが、慶応の時に新校舎を設立し「慶応義塾」と名前を改めたものが、現在の大学名に残っています。

60で一巡り

次に(い)の問題について考えましょう。み



イラスト・瑞木匠

なさんは「干支」を聞いたことがありますか。干支は「えと」と読むことがあります。「えと」というと、子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥の十二支を思い浮かべますね。干支とは、この十二支と、甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸の10種類からなる十干とを組み合わせて60をひとまわりとして考える、順序を表す言葉です。60歳を「還暦」と言いますが、これは干支が60でひとまわりすることに由来しています。干支は、中国を中心に漢字を使うアジアの国・地域で、古くから年月日や時刻、方位などを表す言葉として使われてきました。2019年の干支は「己亥」です。「えと」と言うときは、干支の十二支の部分に注目しているのですね。

歴史的な出来事に注目

歴史的な出来事の中にも、その年の干支で呼ばれているものがいくつかあります。645年の乙巳の変（蘇我入鹿が中大兄皇子らに倒され、大化の改新という政治改革の始まりとなった事件です）、672年の壬申の乱（天智天皇の後継者を争って起きた戦いで、勝利した大海人皇子が天武天皇となりました）、1894年の甲午農民戦争（日清戦争のきっかけとなった事件です）などがあります。そして、1868年に起きた、明治新政府が江戸幕府を倒した戦争が、戊辰戦争です。戦争が起きた1868年（慶応4年・明治元年）の干支であった戊辰から、そのように呼ばれたのです。この問題は、明治元年の干支そのものを覚えていなくても、干支が何かということがわかり、明治元年に起きた干支がいつの歴史的な出来事として戊辰

戦争を思い出すことができれば、答えを導くことができる問題でした。

身近なところにも

干支は歴史的な出来事だけでなく、私たちの生活の中にも見られます。5月5日のこどもの日は「端午の節句」という行事を由来とします。もともとは、5月（干支で言うと午の月）の、最初の午の日に行事を行っていたと言われていいます。また、家の近くで庚申塔という小さな石の塔を見たことがある人もいるかもしれません。これは、庚申の日に行われていた民間信仰に由来しています。

もっとも有名なのは「阪神甲子園球場」でしょうか。球場が開園した1924年の干支から名づけられました。甲子は干支の最初で縁起がよいということにつけられたようです。

（Z会・河原井彩）

！
今回の
教訓

出来事や行事、もの名前には、元号や干支など、日本や漢字を使う地域独自の言葉が使われているものがあります。

河原井彩さん 2007年に入社。中学生向け社会、高校生向け日本史教材の編集を経て、現在は幼児向け教材を担当。新潟生まれの埼玉育ち。